

あゆむ「あれ、また権現堂？」

文じい「そう、しだれ桜がいよいよ見ごろのはずじゃ。」

ミドリ「<sup>いたび</sup>板碑に<sup>きょうみ</sup>少しずつ興味<sup>きょうみ</sup>がわいてきていたんだけどな。でも、桜はぜひ見たいわ。」



あゆむ「あっ、見えてきた。すごい！」

文じい「みごとじゃな！」

ミドリ「高さはどれくらいかしら？」

あゆむ「<sup>せつめいばん</sup>説明板には、約 12mと書いてある。  
それに、<sup>ねもとまわ</sup>根元周<sup>えだは</sup>り6.5m、枝張<sup>えだは</sup>り16m。」

文じい「<sup>きょうこう</sup>胸高<sup>みきまわ</sup>の幹周<sup>みきまわ</sup>りは 4.9mと記録にはある。」

あゆむ「胸高というのは？」

ふみお「胸の高さのところの樹木の太さだ。」

文じい「ふむ、日本では昔から目通りという、目の高さのところの太さを記録しておったが、現在は外国と同じように、胸高(日本では 1.2m)で記録しているようじゃ。」

あゆむ「何年ぐらいたっているのかな。」

ふみお「地区民の安住と<sup>はんえい</sup>繁栄を願<sup>はんえい</sup>い植<sup>はんえい</sup>えられ、  
五百年の<sup>ふうせつ</sup>風雪に耐<sup>た</sup>え…とあるよ。」

## 権現堂のしだれ桜

## 高仙寺のしだれ桜

## 竜 沢 の 桜

ミドリ「ふうん、500年間もすくすく伸びてきたのね。」

ふみお「いや、説明板の最後のところに、幹の補修工事を完了した…とも書いてある。」

文じい「そう。保存会をつくって、幹にあいた穴をうめる修理を行い、その後、支える柱を取り付けるなどの数々の努力がなされてきた。」

ミドリ「なんだか、桜も地区の皆さんもがんばって！ と言いたくなるわ。」

文じい「わしらも大事に見守ってきたいものじゃな。」

あゆむ「今度は、急な坂を上って来たな。」

ミドリ「<sup>こうせんじ</sup>仙石の高仙寺？ うわあ、ここにもすごいしだれ桜！」



ふみお「権現堂の桜より高くはないけど、幅が広いね。」

文じい「高さ約 10m。枝張りは約13m。」

あゆむ「きょうこうの、みき何とかというのは？」

文じい「ほう、あゆむもいろいろ覚えてきたな。」

胸高の幹回りは3.77mという。それから、  
樹齡は推定で250年という。」

ミドリ「権現堂の桜の半分ぐらいの年齢ね。」

ふみお「ところで、しだれというのは“枝垂れ”と書くよね。枝が垂れるのはどういうこと？」

文じい「ふむ、それはの。枝全体の成長速度が速いので、枝や葉の重さで枝が垂れさがり、その後、木として固まってしまうためということじゃ。」

ミドリ「おもしろいわね。そういうのがしだれ桜なのね。」

文じい「そう。しだれ桜は“糸桜”とも言っておるの。」

あゆむ「ふうん。それで、次はどここの桜？」

文じい「竜沢じゃ。」

あゆむ「お、山道だ。」

ミドリ「あ、見えてきた。」

ふみお「おお、堂々と立っている。すごい！」

文じい「高さ 24~27m、幹回り 6.4m、樹齡 310 年。」

あゆむ「しだれ桜とちがうね。」

ミドリ「“龍神桜(エドヒガン)”と書いてあるわ。」

ふみお「竜と龍は同じだよ。龍が天に登っている感じがするね。エドヒガンというのは？」

文じい「それはの …。」

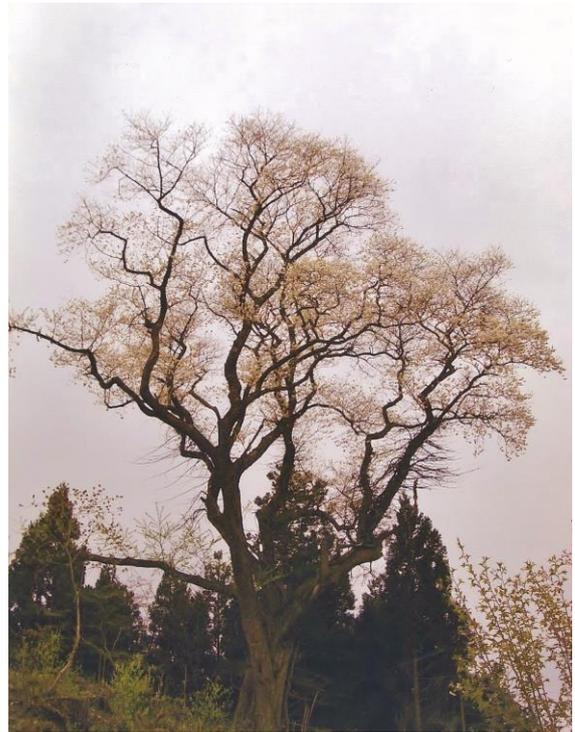
ふみお「あ、待って。辞書で調べる。えーと、春彼岸のころに咲くのでこの名がある。関東で多く見られるのでエドヒガン、漢字で書けば“江戸彼岸”、アズマヒガンともいう。」

文じい「その通りじゃな。エドヒガンの仲間で、枝が垂れるのがしだれ桜じゃ。」

ミドリ「あら、じゃあ今日は仲間同士の3つの桜を見たのね。」

ふみお「しかも、この3つが市の文化財指定になっているんだよね。」

あゆむ「このほかにも桜はたくさんあるよ。」



文じい「町の中に多いのは、ソメイヨシノじゃな。そして、山にはヤマザクラなどが多い。」

ミドリ「いろんな種類があるのね。」

文じい「ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラの雑種じゃ。町の中で大きいのは泉川橋のたもとにある“旭昇さくら”じゃな。旭町の方々ががんばって育てておられる。」

ふみお「その他に、シンエイザクラとか、沢庵桜、土岐桜などの名前を聞くよ。」

ミドリ「それに、いろんな桜の会もあるわよね。」

あゆむ「育てるのに注意することはどんなこと？」  
文じい「いい質問じゃ。植物は根が一番大事じゃ。なるべく土を踏まないようにして少し離れてながめるのが第一じゃな。そんなことで他の桜も見ながら帰るとしようか。」

